

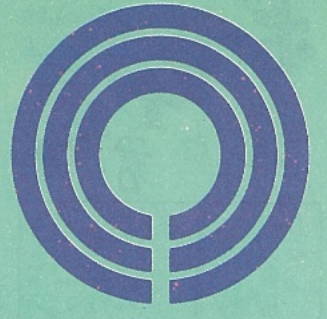
備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…しだく、用意、警戒、防衛
備品。設備。備蓄。備員。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!

no. **18**

かわさき
防災広報紙

昭和61年1月31日発行
編集・発行：
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



です」



気がかり



安否が、

「家族の

まず、家族。みんなで

寒い日が続いています。お元気ですか。

食後のひとときなど、こたつにあたりながら、

家族みんなまで過ごすことが多いことでしょう。

そんなひとときに…地震のことなどを話題に

してはいかがでしょうか。地震の話だからとい

つて、なにも肩ひじを張りながら考える必要

はありません。へ大地震へが起きたとき、家族

みんなが無事であるように、ふだんから、家

族ひとりひとりが、どうすればよいかを話し

合っておけば、いざというときに役立ちます。

そろって、話し合い、

日本海中部地震の際…地震後、一番心配さ

れたのは、へ余震へとへ家族の安否へです。一つ

の不安は次の不安を呼び起こします。家族

の無事がわかれば、心の被害の半分はおさ

まったも同じで、平常心をとり戻し、正しい

判断、行動につながります。

みかんを食べたり、お茶を飲んだりしながら

の、一家だんらんするとき、へそのときに備えて、

家族ひとりひとりの役割や連絡の仕方など

を十分に話し合っておきましょう。

ひとりひとり、備える。

★ 毎月15日は川崎市民地震防災デーです ★

みんなであい

そろそろ

話し合いのポイント

ふだんからの備え

★家の回りの安全は？

—家やブロック塀、門柱など

★家具は倒れないか？

—特に大型の家具

★非常持出品・備蓄品の準備は？

★避難する場所は？

—どういう道順があるか（必ず、下検分を！）

★子供の身元を明確に！

—住所、氏名、生年月日、血液型、保護者名、はぐれた場合の連絡先などを記入。

★防災訓練に参加する。

いざというときの備え

まず、身の安全と火の始末。家の中でも外でも、けがをしない心得を。ガラスの破片、落下物それに転倒ややけどには特に注意を。

台所の火は？、ストーブは？、

おふろは？、すぐ消せますか。

ふだん、グラツとしたとき、消していますか。

★消火器を使えるように。

★持出品を持ち出せるように。

★となり近所と声をかけあう。

連絡方法

★電話

●電話線などに被害がなくても、ふくそうして各家庭の電話はつながりにくくなります。緑、黄、青の公衆電話はつながりますが、家に連絡しようとする人で長蛇の列ができます。

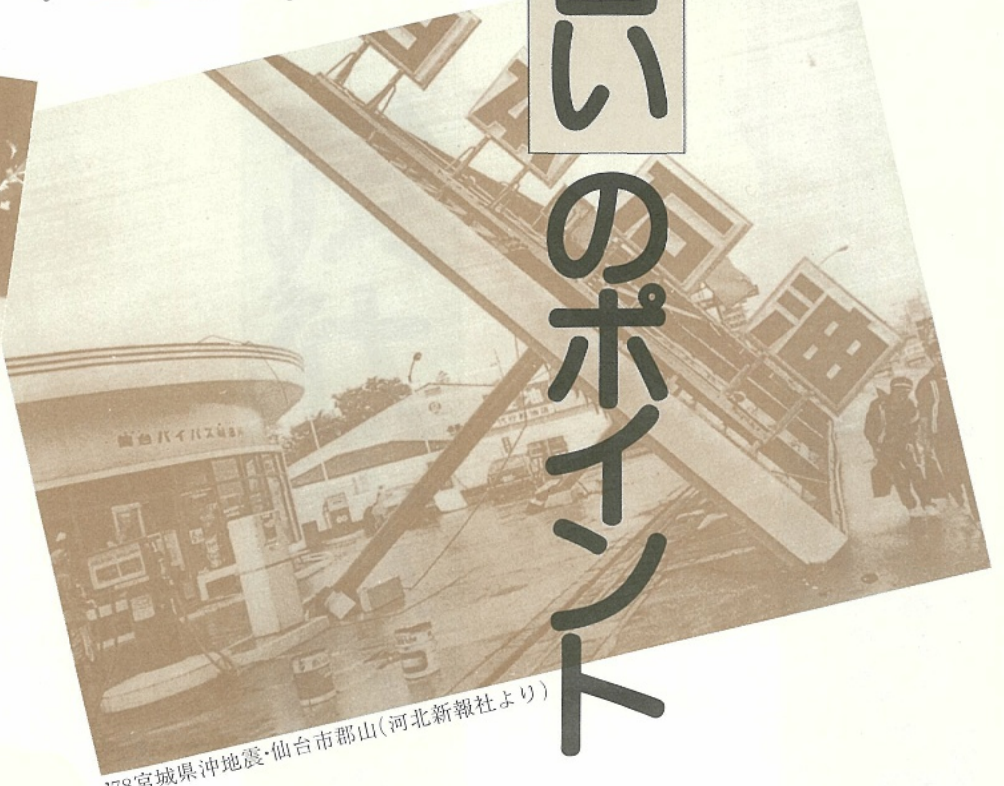
●安否の連絡は手短かに。

●被災地から離れた親戚などを連絡の中継地しておく。また、そこから順次、連絡してもらうようにする。

●被災地から離れた親戚などを連絡の中継地しておく。また、そこから順次、連絡してもらうようにする。



消火訓練



78宮城県沖地震・仙台市郡山(河北新報社より)

ボサイ君



川崎市南部防災センター

あなたのご家庭の地震対策は

南部防災センターの特徴は、基礎の杭を地下40mの洪積層まで、38本打ってあり、関東大震災を上回る震度7の地震にも耐えられるようになっているほかにも、つぎのようなものがあります。

●周囲で大火災が発生した場合、輻射熱から建物を守る放水銃（8本）

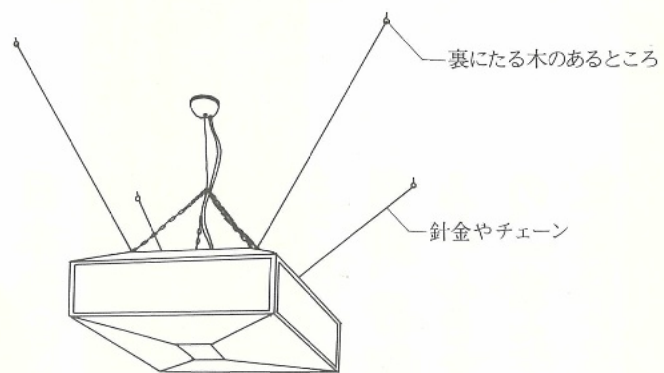
●停電から施設を守るディーゼル自家発電装置（2基）

●夜間活動に備える投光器（4基）および、防災センターの頭脳的働

きをする消防無線（3波）と行政無線（1波）が設備されています。また、1階部分には、多目的ピロティを設け、オープンスペースとしての有効利用ができるようになっています。

●ご利用・ご見学のお問い合わせは
川崎市小田7-3-1
川崎市南部防災センター
☎355-2175
交通—国鉄川崎駅東口9番バス乗り場
臨港バス 富士電機行
「小田小学校前」下車 徒歩6分

身の回りの安全 レッスン⑩ 照明器具の留め方



●つり下げ式の電灯などは、地震の揺れで、天上にぶつかったり、落ちたり電球が割れたりしないように、3〜4カ所留める。

北羽新報社編「M7.1 真昼の恐怖」から 日本海中部地震
能代市 建部満蔵さん

「ただぼう然と、立ち尽くしていた」



「もし、あの時、店内にいたら、きっと大ケガをしていたに違いない。あの大地震で、能代市柳町でカメラ店を経営する建部満蔵さん（51）の店舗は、裏側の半分が約二十センチ陥没したほか、陳列してあった高級カメラなどが吹き飛ばされたように落下、店内はガラスの破片、フィルムなど散乱、足の踏み場もない惨状であった。運がよかった、というべきであろう。あの時、建部さんは店の外にいた。「店の中にいたら、ただではすまなかつたらう」と、悪夢のような地震を振り返った。

あの日、建部さんは店頭にある看板のネジ具合が悪いため修理に夢中になっていた。そこにグラグラグラと激しい揺れが襲ってきた。建部さんはとっさに道路の真ん中に避難したが揺れはさらに大きくなり立っていられずしゃがみ込んだ。そこにガシャン、ガシヤ、ガシヤと店内のガラスケースが倒れ、ガラスが割れる音が建部さんの耳に響いてきた。破壊されていく店内の惨状を見るのがつらく恐ろしかった。建部さんは「早く収まってくれ、収まってくれ」と祈るように、道路の真ん中で下を向いたままじっとしゃがみ込んでいた。五分ほど過ぎたろうか。地震もようやく収まり、建部さんはフツと立ち上がり店に目をやった。「うっ、ひどい、店内は見るも無惨な姿に変わり果てていた。地震は弱いものいじめをするといわれる。地盤

の弱いところ、老朽して弱っている建物を容赦なく破壊する。建部さんのカメラ店は二年前に建てたばかりだが、かつての「柳町のガマ」といわれた沼を埋め立てた土地で、やはり地盤が弱かったのである。マグニチュード7.7の強震にそのもろさをさらけ出した。

店舗の全壊は免れたが、スタジオに使っている店舗の半分が陥没したのをはじめて、陳列商品の落下はすさまじかった。カメラやフィルムなどを陳列したガラスケース十ヶ所のうち、六ヶ所が倒れ、昨春購入したばかりの三十万円もするスタジオ用のカメラ二台も倒れてきたガラスケースの下敷きになって使いものにならなくなった。店頭のショーウィンドーもガラスが粉々に割れ、カメラはガラスの破片をかぶって売り物とはとても見えなかった。陥没したスタジオの地面からは泥水が噴き出してきた。

店内は、まるで地獄を見るような無惨な姿に変ぼう、何から手をつければいいのか、頭の中に何も浮かんでこず、ただぼう然と店の前に立ち尽くしていた。三十分ほど夢遊病者のような状態が続いたのだろうか。そこに近くの洋品店（ハトヤ）の伊藤吉信さんから近所の人々が六人ほどかけつけ、ガラスケースを立て起こすなど後片づけをしてくれた。ぼう然としていた建部さんもそれを見てハツとわれに帰った。